

AND

HOLON

A&D ホロンホールディングス

2025年3月期 決算説明資料

A & D ホロンホールディングス

証券コード 7745

< ご注意 >

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。

2025年3月期実績

前期比 増収増益を継続
売上高は予想を上回る成長

売上高 671億円 前期比 +8.3%
営業利益 88億円 前期比 +10.8%

- ・半導体関連事業は、堅調な需要が続くなか、すべての受注案件の顧客要求納期に対応できたことで増収増益
- ・医療・健康機器事業は、欧州での売上好調により増収で着地も、海外での人件費増などの影響から減益
- ・計測・計量機器事業は、国内での計量機器需要の持ち直しに加え、国内・米州でのDSP機器需要が好調に推移し増収増益

長期ビジョン・新中期経営計画

長期ビジョン2034
新中期経営計画（2025～2027）を策定

長期ビジョン 売上高 1,500億円 営業利益 300億円
新中期経営計画 売上高 800億円 営業利益 117億円

- ・長期ビジョンでは、マーケット目線を最重要視する考えのもと、「はかる」技術を究め、グローバルでの社会課題解決に貢献する企業グループになることを10年後のありたい姿として設定
- ・新中期経営計画では、長期ビジョンからのバックキャストの考え方で設定した各事業の戦略およびグループ機能強化のための施策を推進

2026年3月期予想

新中期経営計画の初年度は、着実な増収増益を目指す

売上高 700億円 前期比 +4.3%
営業利益 95億円 前期比 +7.8%

- ・半導体関連事業については、次世代装置などの新製品開発推進や販売機能強化により、さらなる成長への態勢整備に注力
- ・医療・健康機器事業および計測・計量機器事業については、新製品開発の推進とともに、グローバルでの販売・サービス展開の強化により収益拡大を目指す

| Contents

1 2025年3月期 決算概要	P 3
2 2025年3月期 セグメント別業績	P 8
3 長期ビジョン 2034	P 14
4 中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）	P 18
5 2026年3月期 業績予想	P 25
6 株主還元	P 28
7 APPENDIX(参考情報)	P 30

前期比売上高＋8.3%、営業利益＋10.8%の増収増益を維持、売上高は予想を上回る着地
半導体関連事業の成長に加え、主力の計測・計量機器事業も伸長

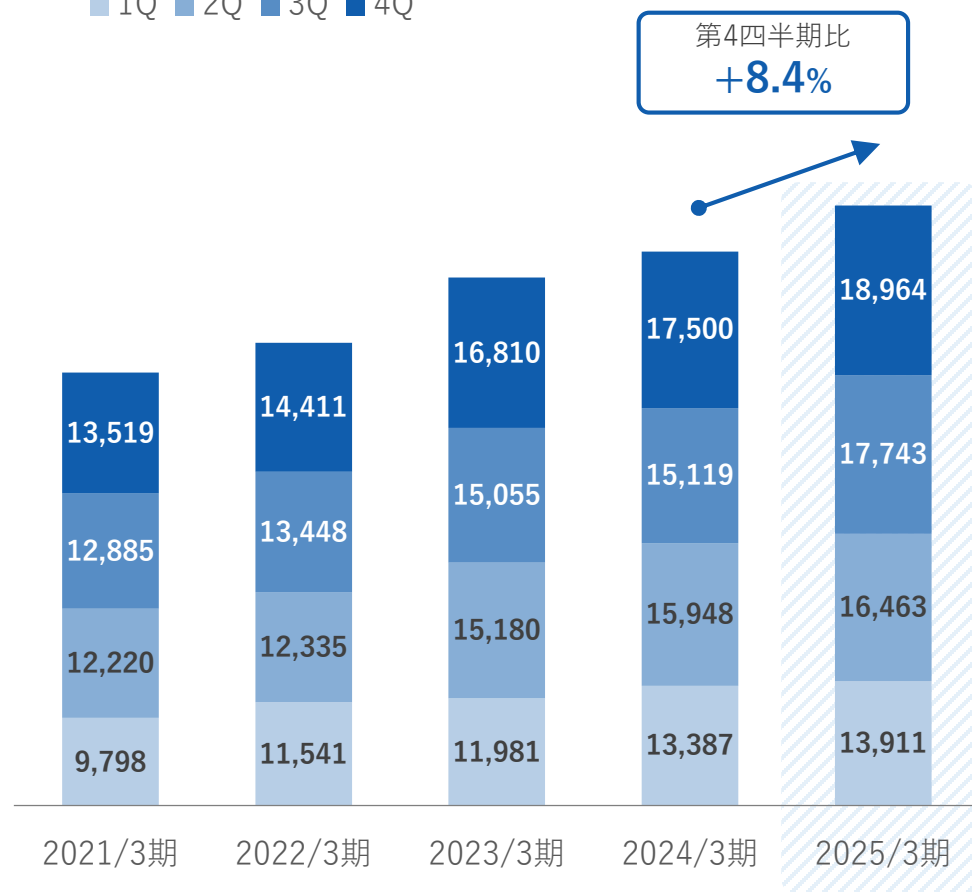
	2024/3期		2025/3期		増減額	前期比	(ご参考)	
	(単位：百万円)	率		率			期初予想	達成率
売上高	61,955	—	67,083	—	5,128	+8.3%	66,000	101.6%
売上原価	34,335	55.4%	36,880	55.0%	2,544	+7.4%	—	—
売上総利益	27,619	44.6%	30,203	45.0%	2,583	+9.4%	—	—
販売費及び一般管理費	19,664	31.7%	21,390	31.9%	1,726	+8.8%	—	—
営業利益	7,955	12.8%	8,813	13.1%	857	+10.8%	9,200	95.8%
経常利益	8,240	13.3%	8,954	13.3%	713	+8.7%	8,980	99.7%
税引き前利益	7,952	12.8%	9,095	13.6%	1,142	+14.4%	—	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	5,299	8.6%	6,468	9.6%	1,169	+22.1%	6,200	104.3%
EPS（円）	192.91	—	235.63	—	42.72	—	225.59	—

第4四半期会計期間 売上高は前年同期比+8.4%で過去最高を更新

売上高

2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期
48,424	51,736	59,028	61,955	67,083

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q

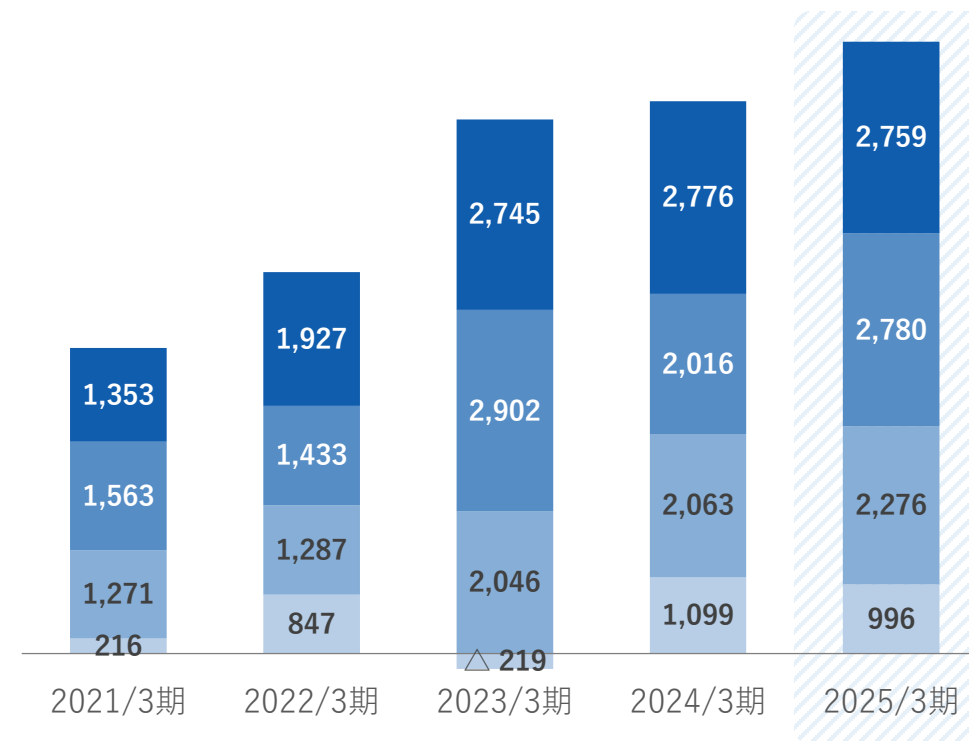


営業利益

(単位：百万円)

2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期
4,404	5,496	7,475	7,955	8,813

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



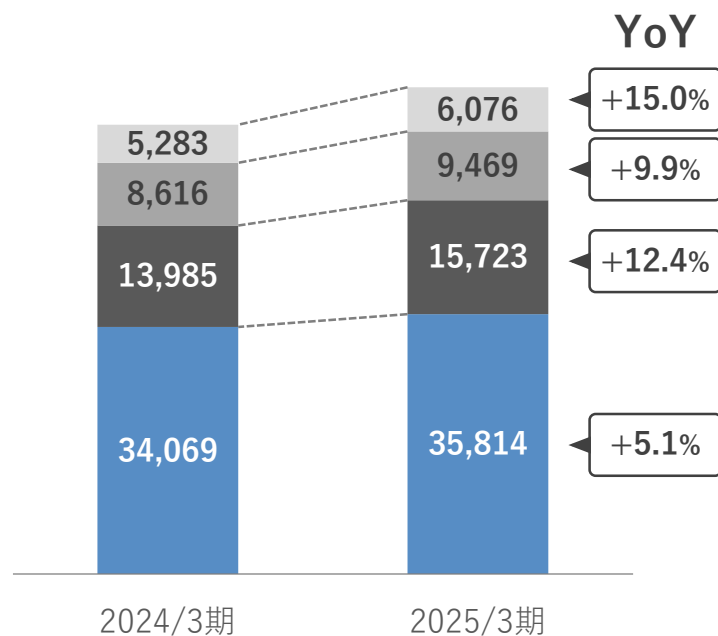
地域別売上高推移

堅調な需要を背景に、すべての地域において前期比増収での着地
特に計測・計量機器の米州の伸びが海外売上高の増加に貢献

地域別売上高

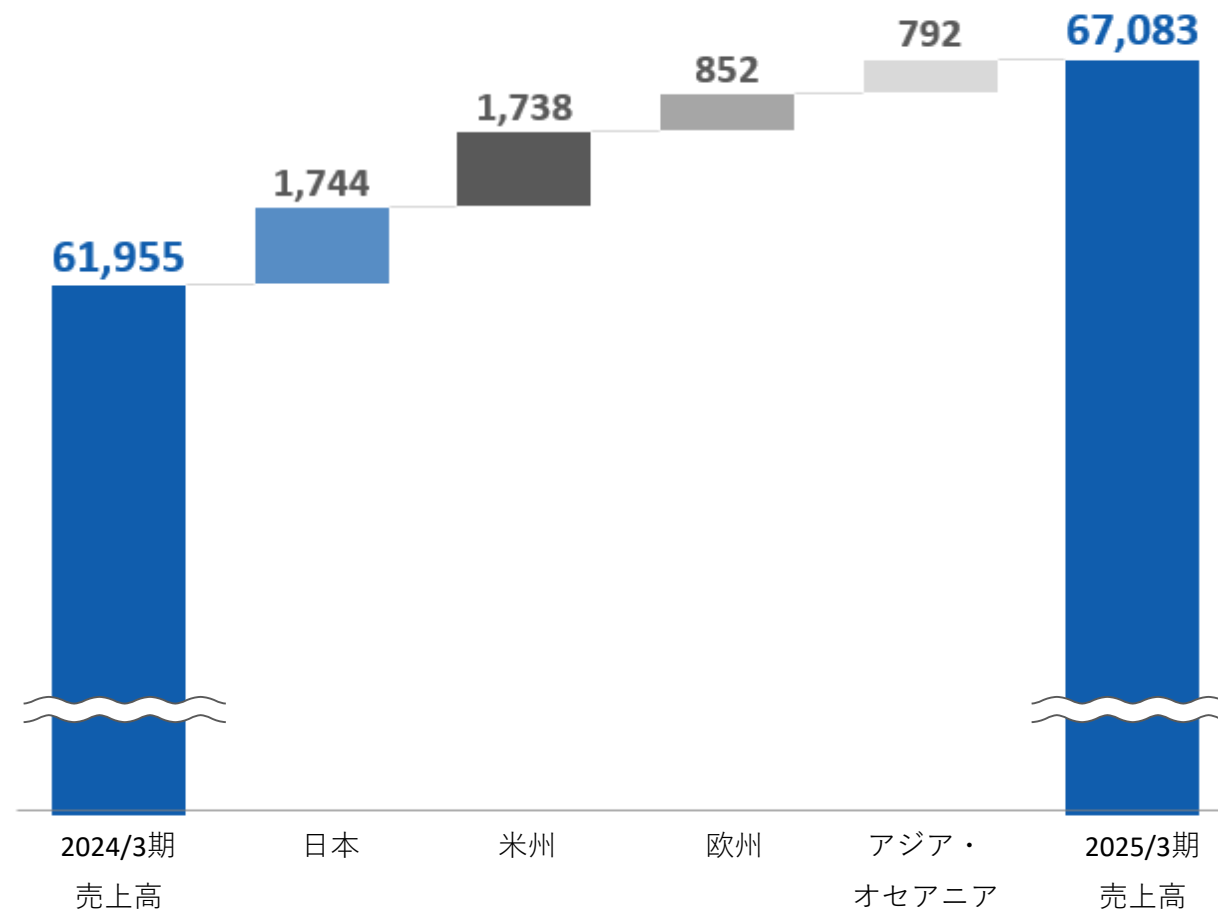
	2024/3期		2025/3期		前期比
	額	構成比	額	構成比	
日本	34,069	55.0%	35,814	53.4%	+5.1%
海外	27,885	45.0%	31,269	46.6%	+12.1%

■ 日本 ■ 米州 ■ 欧州 ■ アジア・オセアニア



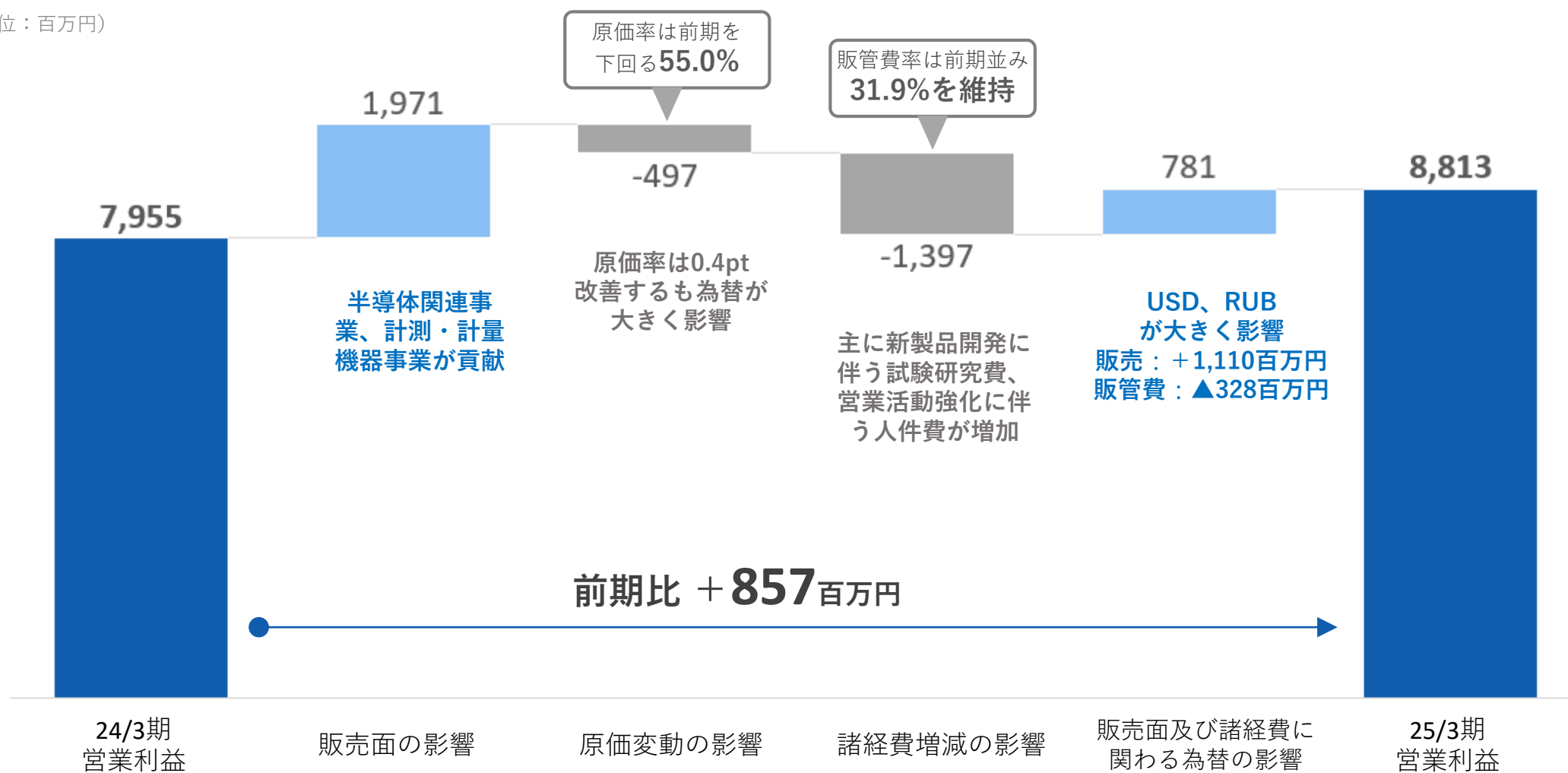
地域別売上高増減分析

(単位：百万円)



営業利益増減要因

(単位：百万円)



| Contents

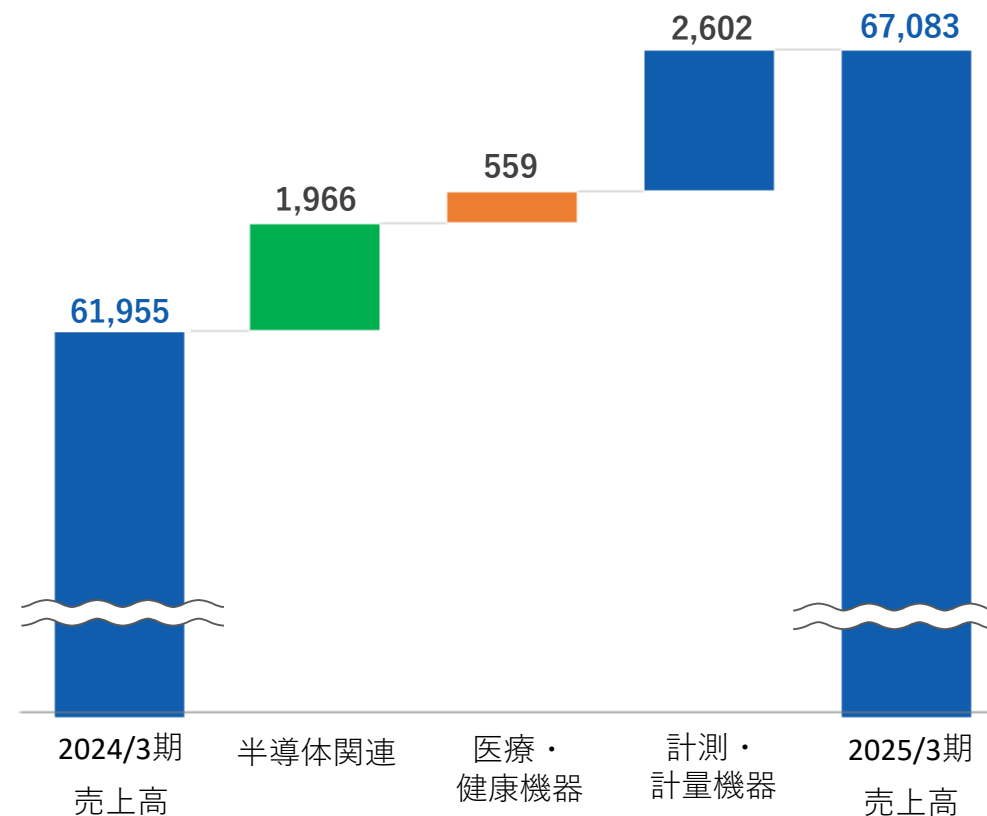
1 2025年3月期 決算概要	P 3
2 2025年3月期 セグメント別業績	P 8
3 長期ビジョン 2034	P 14
4 中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）	P 18
5 2026年3月期 業績予想	P 24
6 株主還元	P 26
7 APPENDIX(参考情報)	P 28

売上高は全セグメントで増加、特に半導体関連事業が前期比で大幅増収となり、通期計画達成
利益は未達も、DSP機器やアジア地域における計量機器の需要増で計測・計量機器事業が大幅増益

	24/3期	25/3期	前期比	当初予想	達成率
売上高	61,955	67,083	+8.3%	66,000	101.6%
半導体関連	10,329	12,295	+19.0%	10,500	117.1%
医療・健康機器	23,563	24,122	+2.4%	23,900	100.9%
計測・計量機器	28,062	30,665	+9.3%	31,600	97.0%
営業利益	7,955	8,813	+10.8%	9,200	95.8%
半導体関連	3,785	4,124	+8.9%	-	-
医療・健康機器	4,249	4,106	-3.4%	-	-
計測・計量機器	1,762	2,704	+53.4%	-	-
全社消去	-1,842	-2,123	-	-	-

事業別売上高増減分析

(単位：百万円)



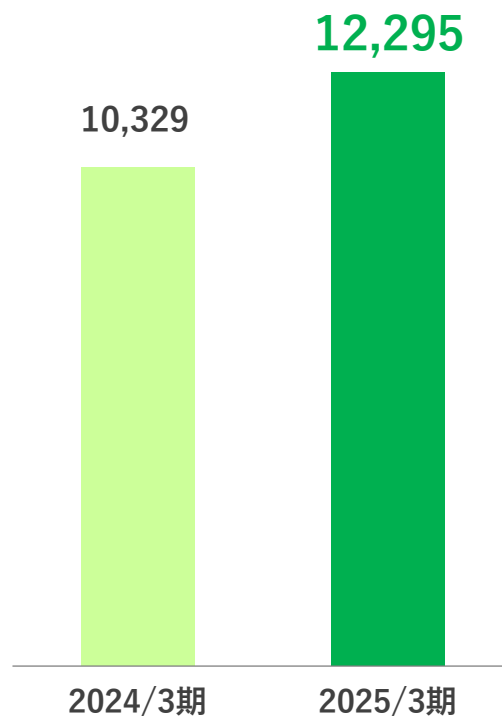
生成AI関連の先端半導体を中心とした需要拡大や、各国におけるサプライチェーン強化のための継続的な設備投資を背景に当社グループ製品への需要も堅調に推移し、増収増益を達成

- ・ 期中の受注案件含め、すべての顧客要求納期に対応できたことで売上大幅増
- ・ 研究開発費の増加等により利益率は低下したものの、売上増によりコスト吸収できたため増益で着地

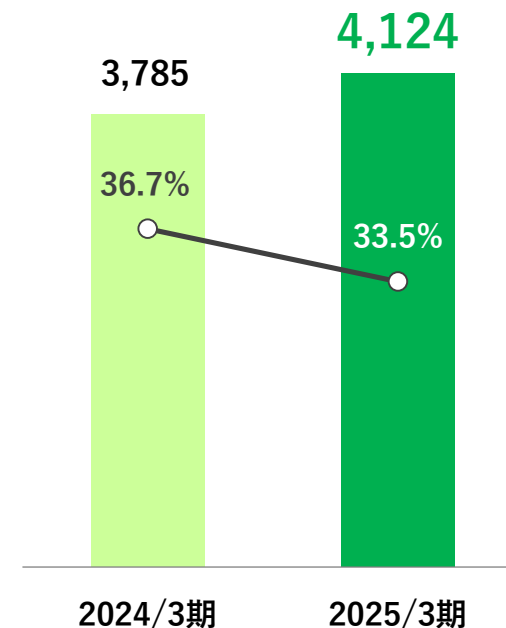
売上高・営業利益※1

	2024/3期	2025/3期	前期比	ご参考	
				当初 予想	達成率
売上高	10,329	12,295	+19.0%	10,500	117.1%
営業利益 ※2	3,785	4,124	+8.9%	—	—
受注残高 ※3	9,605	9,794	+2.0%	—	—

売上高



営業利益・率 (単位：百万円)



※1：半導体関連事業は国内のセグメントで計上

※2：各事業別の営業利益には、全社費用およびセグメント間の取引調整額（24/3期 -1,842百万円、25/3期 -2,123百万円）が含まれておりません

※3：当社グループは原則として見込生産を行っておりますが、一部受注生産を行っている製品があり、当受注残高は受注生産品の実績となります

顧客・地域ごとの需要変動が大きくなるなか、特に欧州での売上増により前期比増収で着地
一方、海外での営業活動強化に伴う人件費増などの影響が拡大し、営業利益は前期比微減

日本 大口顧客向け製品が低調だったことや一部顧客向け製品の商流変更が影響し売上減となったものの、製品ミックスや海外向け製品の出荷増に伴う生産性向上により利益は増加

米州 家庭用血圧計需要が弱含みで推移も為替影響により売上増加、利益は営業活動強化に伴う人件費増などの影響が拡大し減少

欧州 現地でのシェア維持と拡大に注力したことで売上増加、利益は営業活動強化に伴う人件費増などの影響が拡大し減少

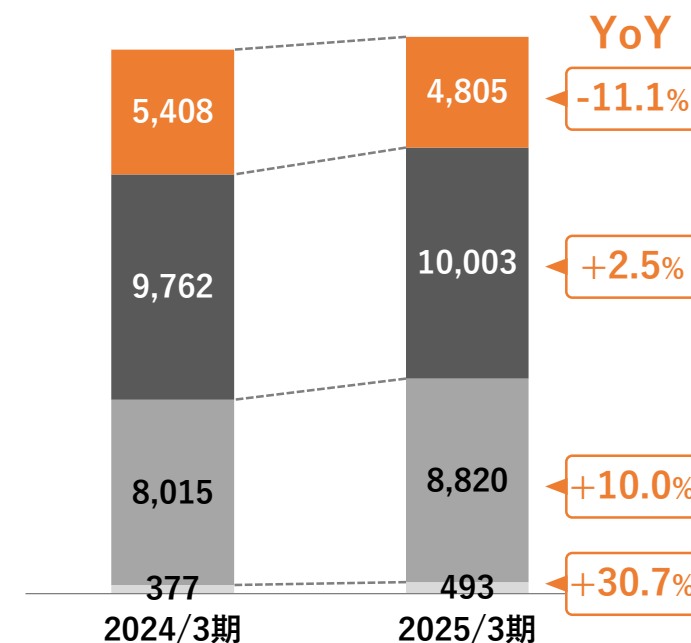
売上高・営業利益

	2024/3期 ()は構成比		2025/3期 ()は構成比		前期比	ご参考	
						当初予想	達成率
売上高合計	23,563		24,122		2.4%	23,900	100.9%
医療機器	4,503	(19.1%)	4,666	(19.3%)	+3.6%	4,600	101.5%
健康機器	19,060	(80.9%)	19,455	(80.7%)	+2.1%	19,300	100.8%
営業利益※1	4,249		4,106		-3.4%	—	—
受注残高※2	555		326		-41.3%	—	—

地域別売上高

(単位：百万円)

■ 日本 ■ 米州 ■ 欧州 ■ アジア・オセアニア



日本・米州での好調なDSP機器需要やアジア地域での堅調な計量機器需要により増収、
海外での人件費増加も売上増によるコスト吸収や利益率改善の取り組み継続により大幅増益で着地

日本

第4四半期での計量機器需要の持ち直しに加え、DSP機器需要も好調に推移、利益率改善の取り組みも奏功し増収増益

米州

計量機器需要の取込や好調なDSP機器需要により増収、利益は営業活動強化に伴う人件費増などの影響を受けるも黒字で着地

アジア・オセアニア

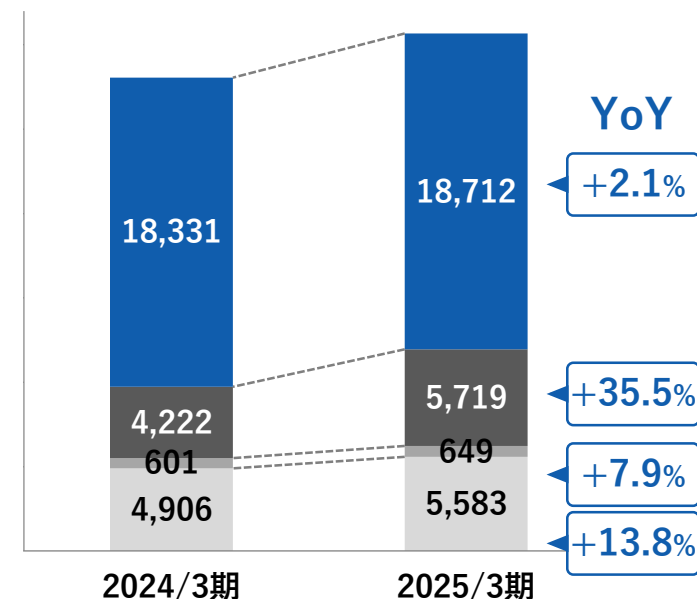
韓国・台湾・インドにおける計量機器需要が堅調に推移し増収増益を達成

売上高・営業利益

	2024/3期 ()は構成比		2025/3期 ()は構成比		前期比	ご参考	
						当初予想	達成率
売上高合計	28,062		30,665		+9.3%	31,600	97.0%
計量機器	18,909	(67.4%)	20,138	(65.7%)	+6.5%	21,600	93.2%
DSP機器※1	9,153	(32.6%)	10,527	(34.3%)	+15.0%	10,000	105.3%
営業利益※2	1,762		2,704		+53.4%	—	—
受注残高※3	6,057		6,271		+3.5%	—	—

地域別売上高 (単位：百万円)

■ 日本 ■ 米州 ■ 欧州 ■ アジア・オセアニア



※1：25/3期実績から計測機器とDSP機器をあわせDSP機器としてまとめて表示（24/3期についても計測機器とDSP機器を合わせた実績で表示）

※2：各事業別の営業利益には、全社費用およびセグメント間の取引調整額（24/3期 -1,842百万円、25/3期 -2,123百万円）が含まれておりません

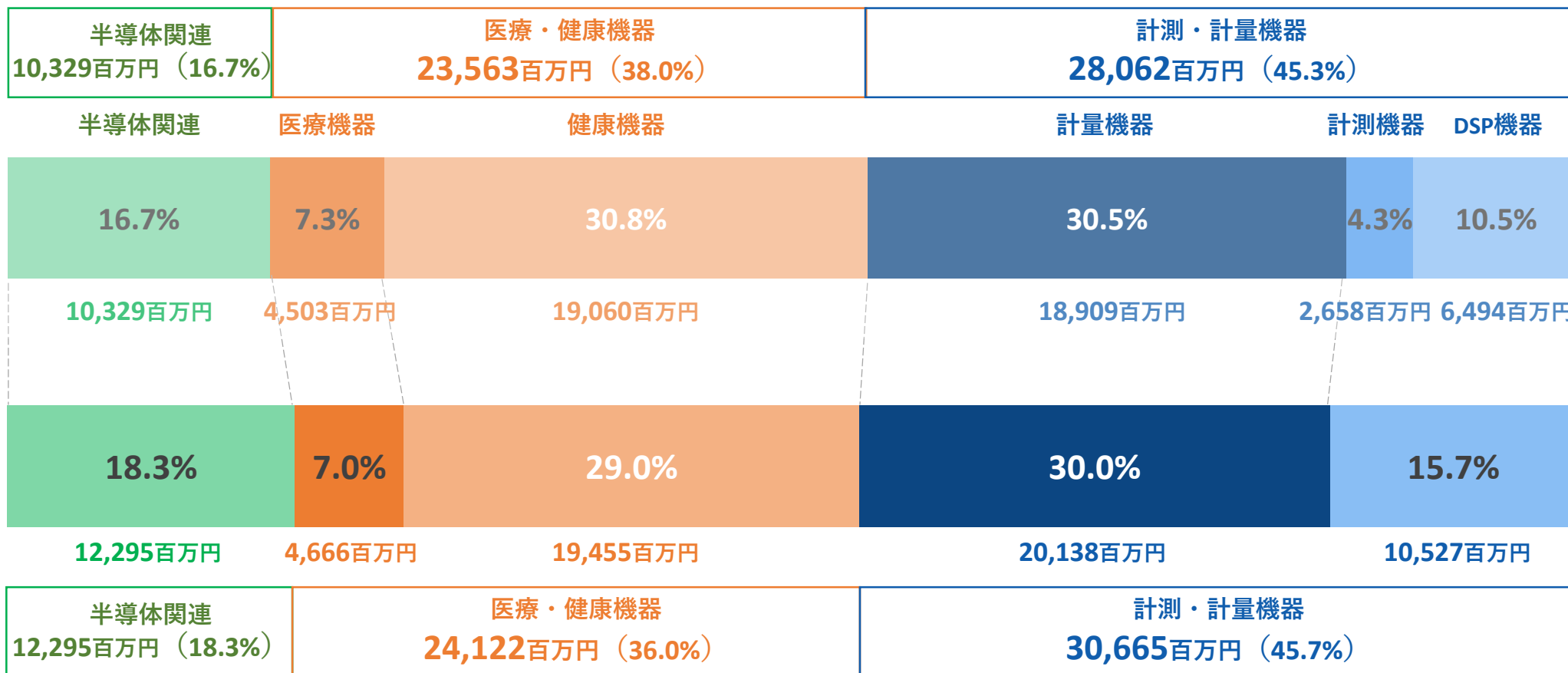
※3：当社グループは原則として見込生産を行っておりますが、一部受注生産を行っている製品があり、当受注残高は受注生産品の実績となります

事業別売上高構成

24/3期
61,955
百万円

25/3期
67,083
百万円

■ 半導体関連 ■ 医療機器 ■ 健康機器 ■ 計量機器 ■ 計測機器 ■ DSP機器



フォトマスク用CD-SEM



全自動血圧計



家庭用血圧計



分析用電子天秤



車載統合計測システム (VMS)



引張・圧縮試験機

| Contents

1 2025年3月期 決算概要	P 3
2 2025年3月期 セグメント別業績	P 8
3 長期ビジョン2034	P 14
4 中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）	P 18
5 2026年3月期 業績予想	P 25
6 株主還元	P 28
7 APPENDIX(参考情報)	P 30

長期ビジョン
2034
スローガン

Sensing the Future

～「はかる」を究め、世界を支える～

これまでの「はかる」こだわりは持ちつつ、マーケット目線を最重要視するのが今後10年のテーマ

「はかる」を究める

創業以来こだわりを持って育ててきた

「はかる」技術

- ・本物にこだわり、イノベーションを推進する
- ・産業界や社会に価値をもたらす競争優位性のある技術を追求する

世界を支える

創業以来

「グローバル市場」

を舞台に事業を展開

- ・お客様の声をグローバルに広く取り入れ、信頼性の高いデータやソリューションを提供し続ける
- ・お客様の課題解決に貢献することで、世界の発展を支える存在となる

長期ビジョン
2034

Sensing the Future ～「はかる」を究め、世界を支える～

“Sensing the Future”を
実現する
5つの基本戦略

1

社会課題解決に向けた事業ポートフォリオの改革

- ・社会課題視点、マーケット視点で事業領域をリデザイン
- ・新たな成長エンジンとなる次世代セグメントの創造

2

マーケットインによる顧客への価値提供ができるビジネスモデルへ転換

- ・各事業領域でマーケティング力を高め、ユーザーの課題解決へみちびく
- ・マーケティングプラットフォームを構築し、AIを活用したビジネススタイルを創出

3

“「はかる」を究め、世界を支える”を実現する新たな開発・生産機能の構築

- ・基盤技術のより進化した研究と、マーケットイン・プロダクトアウトを両立させるR&D機能の強化
- ・メーカーとしての強みを発展させるグローバルサプライチェーンの構築と生産DXの実現

4

ポートフォリオマネジメントの高度化

- ・企業価値向上の源泉となる継続的な成長投資の推進
- ・成長投資を支えるポートフォリオマネジメントにより持続的な企業価値向上に貢献

5

サステナビリティ経営の推進

- ・社会価値と経済価値の両立によるサステナビリティ企業への転換
- ・戦略的人事体制の構築による人的資本経営の推進と組織デザインの構築

事業価値の再定義と
基盤の再構築

STEP 1

FY2025 ~ FY2027

事業を見つめ直し
経営基盤を強固にする期間

FY2027
売上高
800億円
営業利益
117億円

1,000億企業への成長

STEP 2

FY2028 ~ FY2030

事業戦略推進によるシェア拡大
事業部制への完全移行

更なる飛躍と新事業確立

STEP 3

FY2031 ~ FY2034

次世代セグメントを創出
確立し続ける
サステナビリティ企業へ

FY2034
売上高
1,500億円
営業利益
300億円

| Contents

1 2025年3月期 決算概要	P 3
2 2025年3月期 セグメント別業績	P 8
3 長期ビジョン 2034	P 14
4 中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）	P 18
5 2026年3月期 業績予想	P 25
6 株主還元	P 28
7 APPENDIX(参考情報)	P 30

長期ビジョン
2034

Sensing the Future

～「はかる」を究め、世界を支える～

中期経営計画テーマ
(FY2025～FY2027)

事業価値の再定義と基盤の再構築

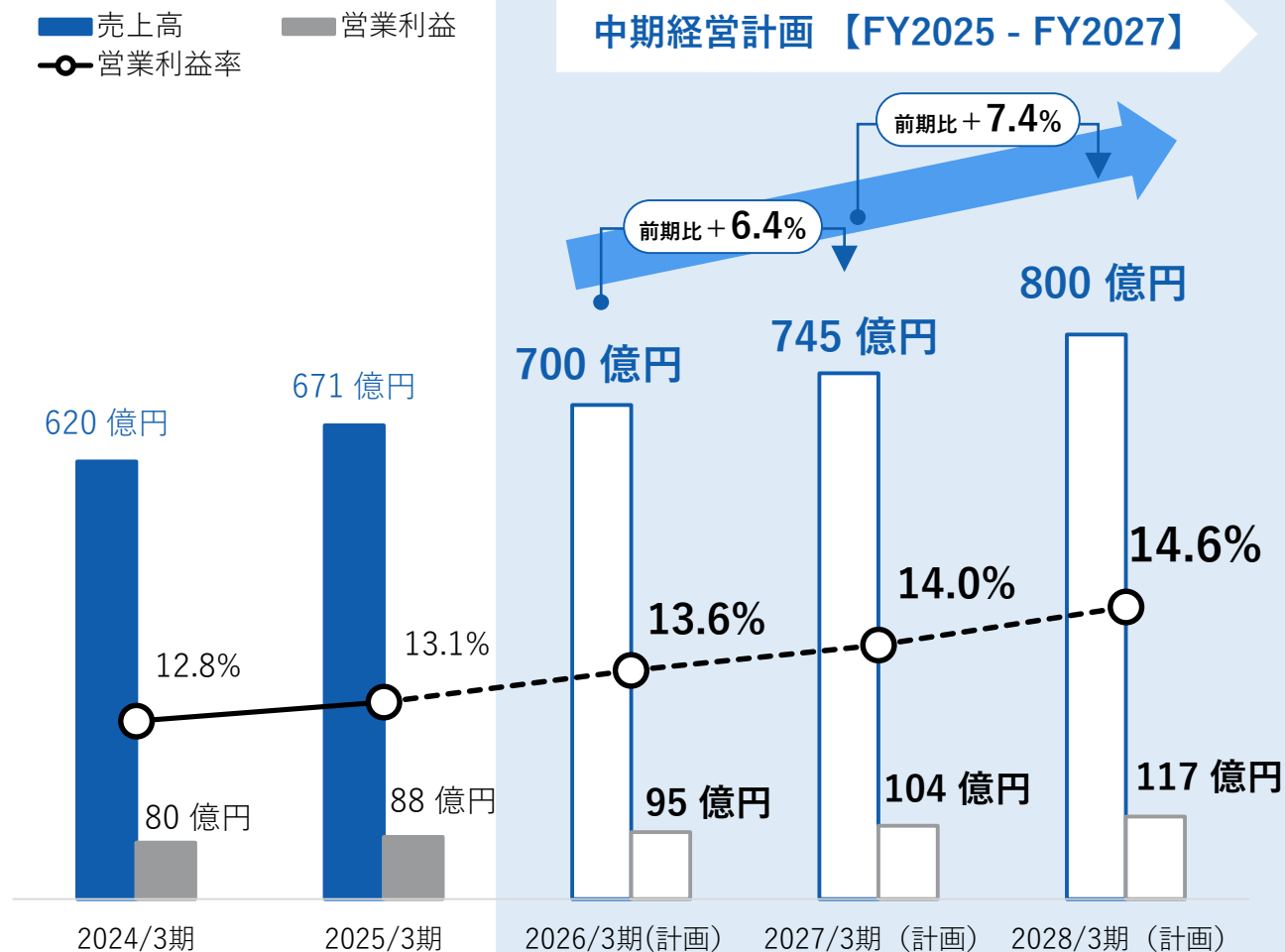
事業価値の再定義

- ・ グローバルマーケティング機能の構築
- ・ グローバル展開加速と事業ポートフォリオを意識した成長の実現
- ・ 事業成長を支える研究開発/生産機能の強化

基盤の再構築

- ・ 事業ポートフォリオマネジメントの運用
- ・ 環境変化に順応するサステナビリティ経営の実装

中期経営計画最終年度の2028年3月期は売上高800億円、営業利益117億円を計画



2028年3月期 計画

売上高
800億円

25/3期比
+19.3%

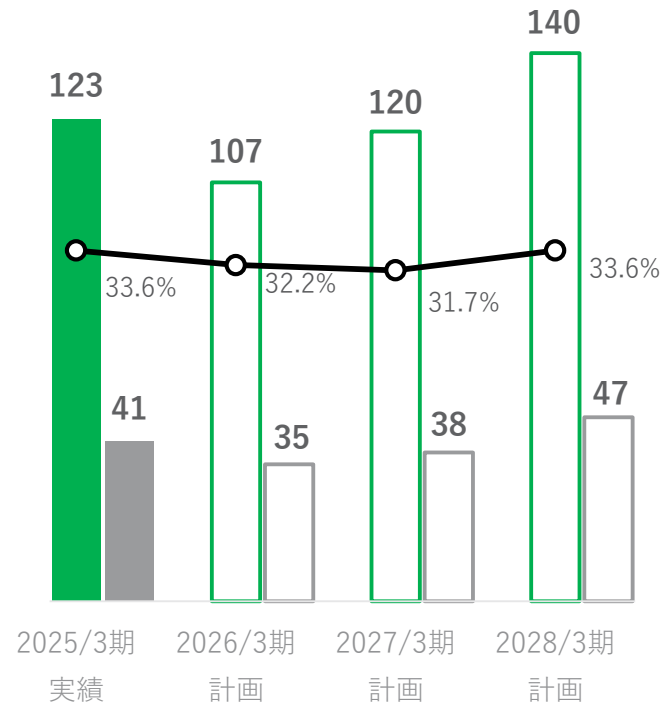
営業利益
117億円

25/3期比
+32.8%

3カ年計数計画（単位：億円）

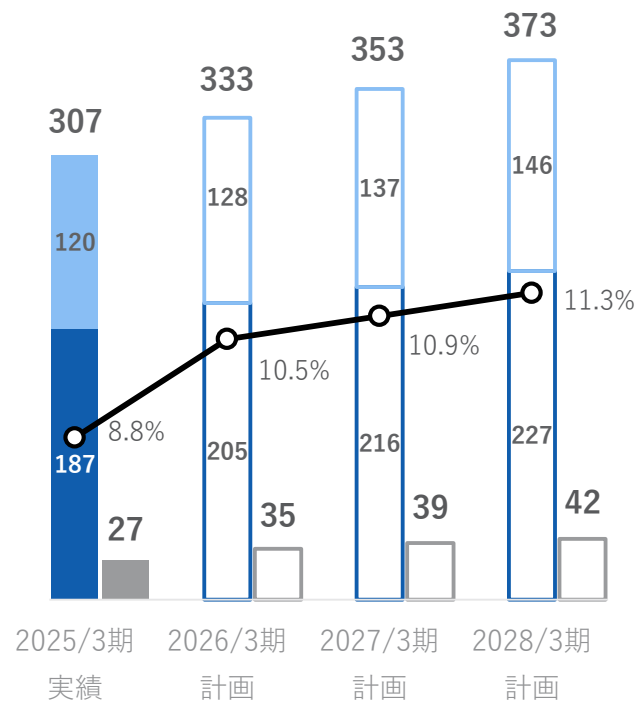
半導体関連事業

売上高 営業利益 営業利益率



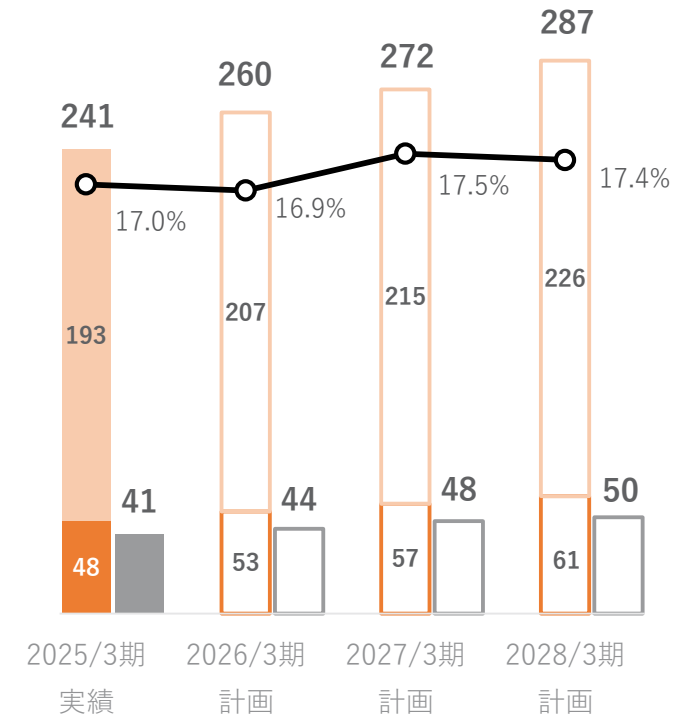
計測・計量機器事業

国内売上高 海外売上高 営業利益 営業利益率



医療・健康機器事業

国内売上高 海外売上高 営業利益 営業利益率



※：半導体関連事業は国内のセグメントで計上

※：事業別の営業利益には、全社費用およびセグメント間の取引調整額は含まれておりません

半導体関連事業

アナログ技術で業界内高性能の頂点へ

1 グローバルシェア拡大

- ターゲット市場（アジア圏）におけるプレゼンス向上
- 電源、電子銃のグローバル展開

2 新製品開発推進

- 次世代CD-SEMのリリース
- 電子ビーム技術を応用した革新製品の創出
- AD/DA変換技術を用いた高付加価値製品の開発

3 グループ先端技術の強化

- エー・アンド・デイ＋ホロンの基礎技術の融合
- AIを活用した画像解析技術などの処理能力向上

計測・計量機器事業

戦略マーケットの特定と参入による収益力強化

1 グローバルシェア拡大

- 重点地域（北米・中国）での販売強化
- グローバルでのエンジニアリング機能強化

2 新製品開発推進

- ラボ市場向け新製品開発（分析天びんなど）
- ファクトリーオートメーション市場向け新製品開発（計量モジュールなど）
- 新たな規制に対応するタイヤ試験機の開発

3 エネルギーシフトへの対応

- 熱マネジメントシステムの開発
- 電動車向けエンジニアリングサービス拡大

医療・健康機器事業

医療の最先端をグローバル市場に

1 グローバルシェア拡大

- 家庭向け血圧計のカバレッジ拡大
- 医療施設向け製品の未開拓国に対するプロモーション強化

2 新製品開発推進

- 医療DX向けソリューションのグローバル展開を見据えた製品拡充
- 業界に先駆けた睡眠血圧測定可能な家庭向け上腕血圧計の開発

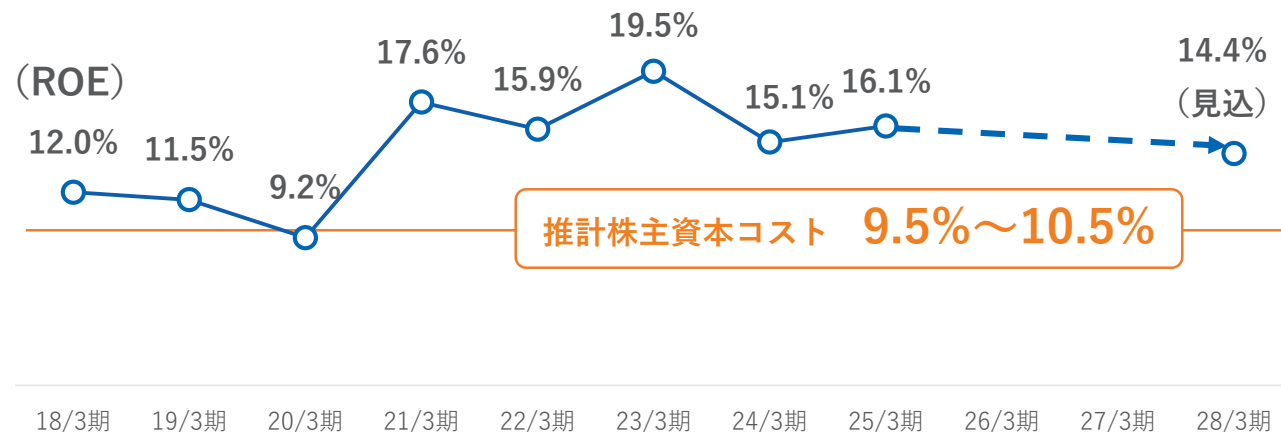
3 最先端技術へのアプローチと事業基盤の強化

- 産学連携によるイノベーション製品開発活動の推進
- プロダクトバリューチェーンの強化

株主資本コストを認識した資源分配、積極的な投資家との対話によりエクイティスプレッドの拡張を図る

ROEと株主資本コスト

株主資本コストを上回るROEを維持していく



株主資本コストの推計

$$\text{株主資本コスト (期待収益率)} = \text{① リスクフリーレート} + \text{② } \beta \times \text{③ リスクプレミアム}$$

①	リスクフリーレート	10年物国債利回りを参考
②	β値	弊社株価と株式市場全体(TOPIX)を比較
③	リスクプレミアム	6.0%~7.0%とする

IR活動の強化

積極的な資本市場との対話推進と
情報開示により株主資本コストを低減

1. 株主・投資家向けミーティング強化
2. 株主・投資家からの意見を踏まえた情報開示の拡充
3. 施設見学会実施
(ホロン新工場、A & D開発・技術センター)

投資家との個別面談実績 (2025年3月期)

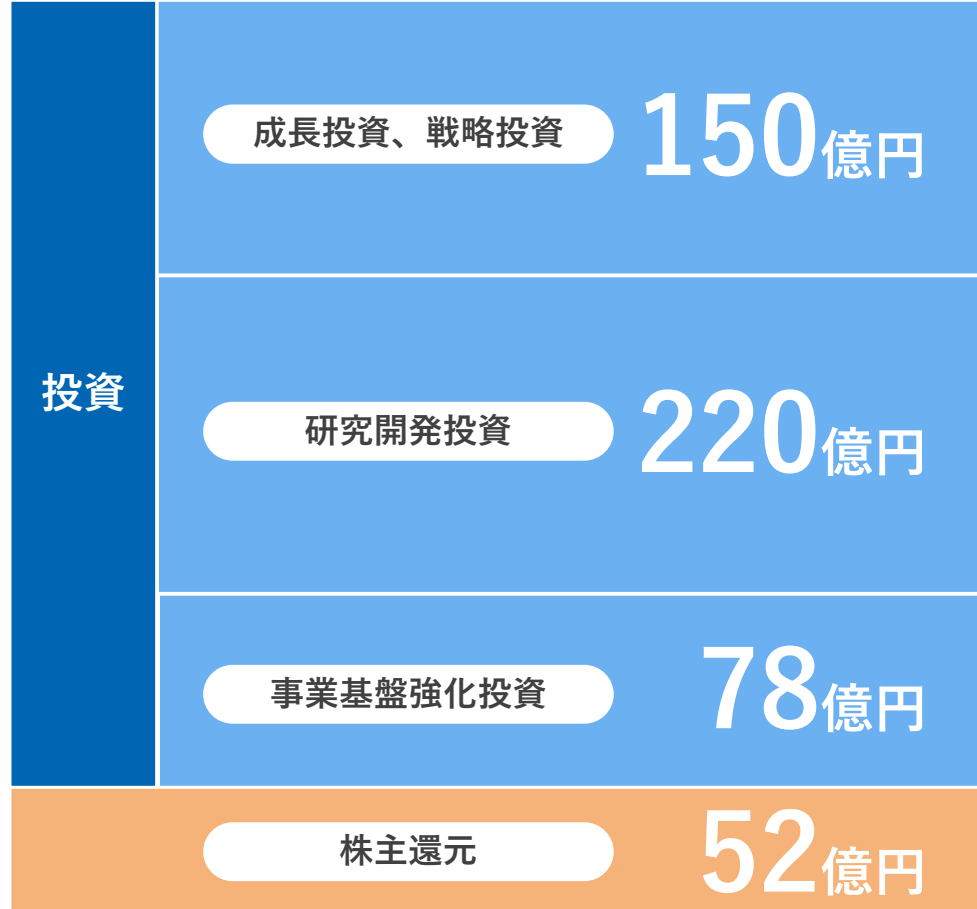
ミーティング回数	投資家概要	対応者 (案件により異なる)
107回	幅広い投資スタイルの 国内外機関投資家	代表取締役執行役員社長、 IR担当役員、IR担当

持続的な成長に向けた成長・戦略投資、株主還元を実施

FY2025～FY2027累積

— キャッシュイン —

— キャッシュアウト —



継続的な成長に向けた投資

- ✓ R&Dセンター
- ✓ DX推進
- ✓ スマートファクトリー
- ✓ M&A 他

イノベーションのための継続投資

- ✓ 新製品開発
- ✓ グローバルでの開発体制推進

事業維持および基盤強化のための投資

- ✓ 既存設備維持・更新
- ✓ ITインフラ整備

2027年度（28/3期） 配当性向30%

| Contents

1 2025年3月期 決算概要	P 3
2 2025年3月期 セグメント別業績	P 8
3 長期ビジョン 2034	P 14
4 中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）	P 18
5 2026年3月期 業績予想	P 25
6 株主還元	P 28
7 APPENDIX(参考情報)	P 30

売上高 前期比 +4.3%、営業利益 前期比 +7.8%の増収増益を見込む

米国関税政策の影響については、米国経済や需要動向を注視しつつ適切に対応

事業環境

半導体関連事業

引き続きAI関連の半導体を中心として中長期的に市場が拡大していく見込み、新たな需要の高まりに合わせ、次世代装置等の新製品開発を着実に進める

計測・計量機器事業

カーボンニュートラルに向けた世界的な取り組みやデジタル化の進展により、開発投資や生産設備投資は継続
特定の市場に向けた新製品開発を進める

医療・健康機器事業

医療DXの進展や世界的な高齢化社会の流れのなかで、中長期的な需要増が見込まれることから、グローバルでの市場カバレッジおよび重点地域での販売拡大に取り組む

	2025/3期 実績	2026/3期 予想	増減率
(単位：百万円)			
売上高	67,083	70,000	+4.3%
営業利益	8,813	9,500	+7.8%
経常利益	8,954	9,400	+5.0%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	6,468	6,500	+0.5%
1株当たり 当期純利益 (円)	235.63	237.45	—

想定為替レート：1米ドル140.00円、1露ルーブル1.60円

2026年3月期は計測・計量機器事業、医療・健康機器事業で成長を見込む

新中期経営計画の初年度として、各事業の戦略およびグループ機能を強化するための施策を推進

(単位：百万円)		売上高			営業利益		
		2025/3期 (実績)	2026/3期 (予想)	増減率	2025/3期 (実績)	2026/3期 (予想)	増減率
半導体関連事業		12,295	10,700	-13.0%	4,124	3,450	-16.4%
計測・計量 機器事業	計量機器	20,138	21,600	+7.3%	—	—	—
	DSP機器	10,527	11,700	+11.1%	—	—	—
	小計	30,665	33,300	+8.6%	2,704	3,500	+29.4%
医療・健康 機器事業	医療機器	4,666	5,200	+11.4%	—	—	—
	健康機器	19,455	20,800	+6.9%	—	—	—
	小計	24,122	26,000	+7.8%	4,106	4,400	+7.1%
合計		67,083	70,000	+4.3%	8,813	9,500	+7.8%

半導体関連事業

需要動向を鑑み、今期は減収減益の見込み。次世代装置等の新製品開発に引き続き注力するとともに、海外展開の拡大や新規顧客開拓のための販売機能強化を図り、今後のさらなる成長に向けた基盤づくりを進める

計測・計量機器事業

特定の市場に向けた新製品開発を推進、米国や中国など海外の重点地域における販売、エンジニアリング、サービス対応を強化することによって業績拡大を目指す

医療・健康機器事業

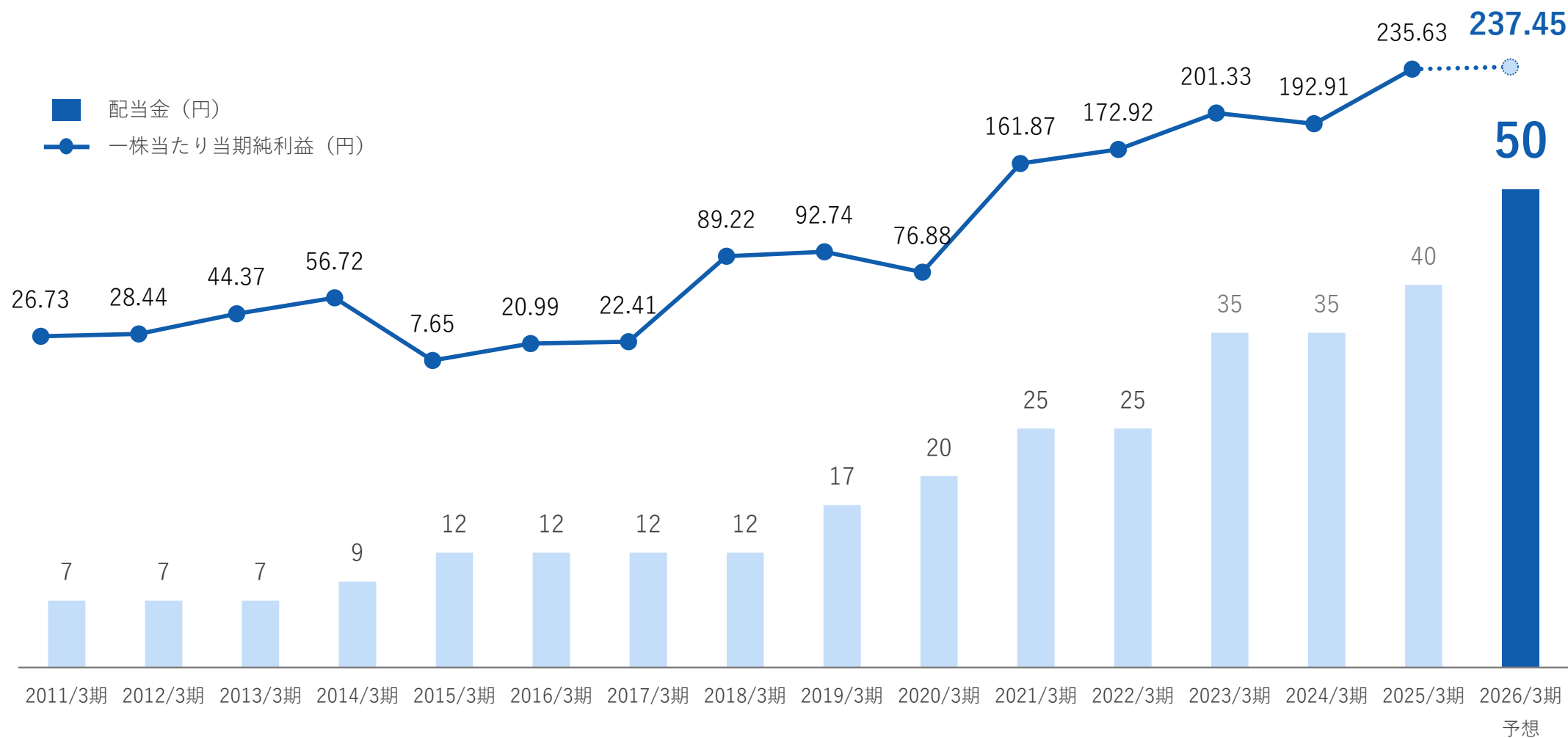
グローバルでの市場カバレッジおよび重点地域での販売拡大に加え、新規事業領域に対応した製品開発、サービス展開の強化によって業績拡大を目指す

※：事業別の営業利益には、全社費用およびセグメント間の取引調整額は含まれておりません

| Contents

1 2025年3月期 決算概要	P 3
2 2025年3月期 セグメント別業績	P 8
3 長期ビジョン 2034	P 14
4 中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）	P 18
5 2026年3月期 業績予想	P 25
6 株主還元	P 28
7 APPENDIX(参考情報)	P 30

2025年3月期の業績結果を踏まえ、2026年3月期の年間配当予想は2025年3月期から10円増配し50円（中間配当25円、期末配当25円）を予定



| Contents

1 2025年3月期 決算概要	P 3
2 2025年3月期 セグメント別業績	P 8
3 長期ビジョン 2034	P 14
4 中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）	P 18
5 2026年3月期 業績予想	P 25
6 株主還元	P 28
7 APPENDIX(参考情報)	P 30

借入返済の促進、支払いサイトの短縮を実施し、BSをスリム化

(単位：百万円)	2024年3月期	2025年3月期	増減額
流動資産合計	54,368	51,668	-2,699
固定資産合計	17,618	17,336	-281
資産合計	71,986	69,005	-2,981
流動負債合計	29,896	22,780	-7,116
固定負債合計	4,327	3,426	-900
負債合計	34,223	26,207	-8,016
株主資本合計	38,017	43,119	+5,102
純資産合計	37,762	42,797	5,035
負債純資産合計	71,986	69,005	-2,981
自己資本比率	52.3%	61.9%	+9.6%

- 現金及び預金や売上債権を中心に流動資産が2,699百万円減少

- 短期借入金及び仕入債務の減少により流動負債が7,116百万円減少

- 長期借入金の減少等により固定負債が900百万円減少

- 自己資本比率が9.6pt上昇

キャッシュ・フロー

(単位：百万円)	2024年3月期	2025年3月期	増減
営業活動によるCF	7,201	6,578	－ 622
投資活動によるCF	－ 2,007	－ 2,005	＋ 2
フリー・キャッシュ・フロー	5,193	4,573	－ 620
財務活動によるCF	－ 5,674	－ 5,440	＋ 233
期末現金残高	14,016	13,257	－ 759

・ 支払サイト短縮による仕入債務の減少により営業CFは減少

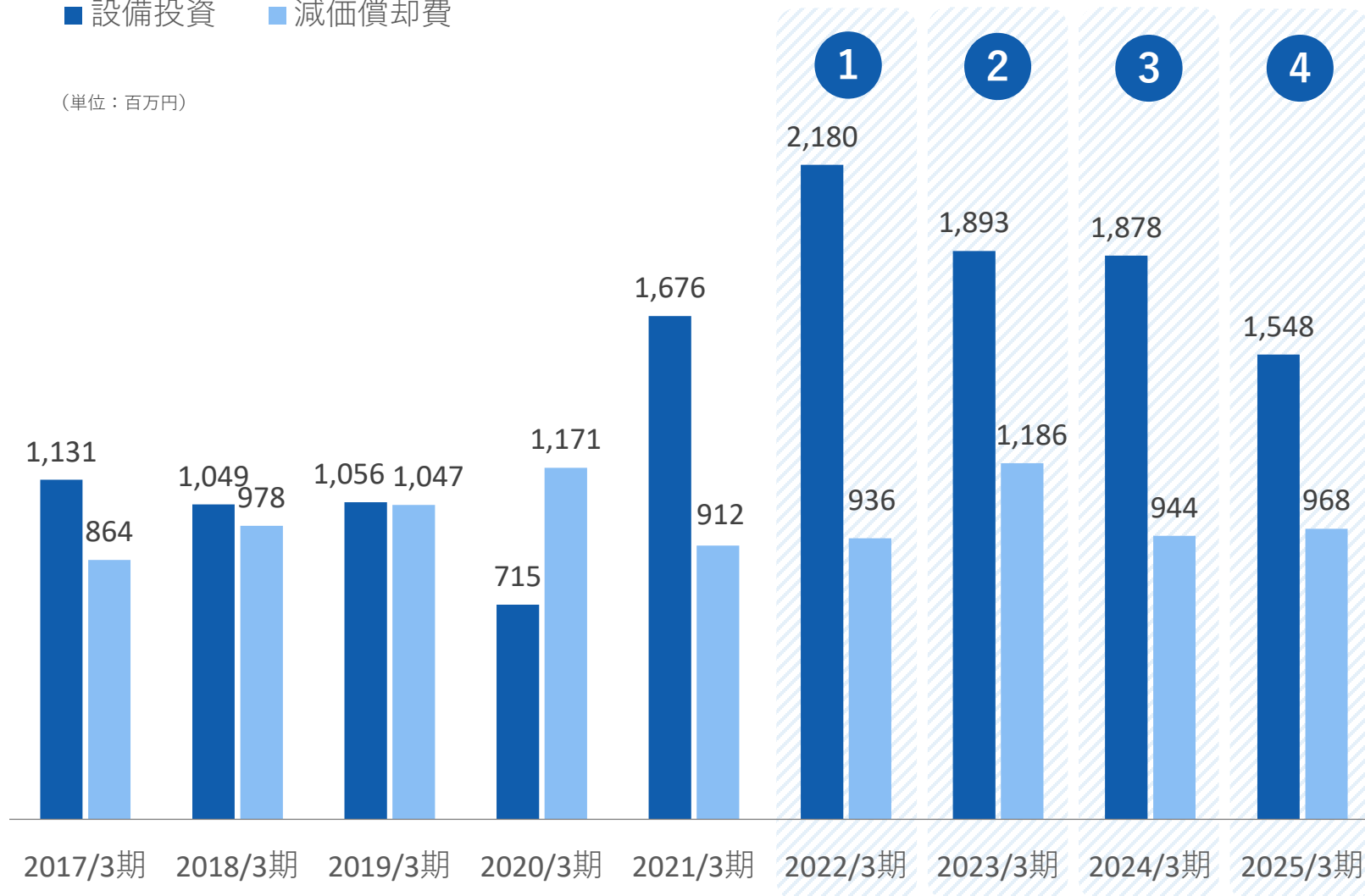
・ 有形固定資産および無形固定資産の取得により、投資CFは前期とほぼ同水準

・ 借入の返済促進により、財務CFも前期とほぼ同水準

設備投資・減価償却費の推移

■ 設備投資 ■ 減価償却費

(単位：百万円)



1

2022年3月期は韓国工場建設及び前年度に引き続きホロンの本社工場建設の設備投資が増加

2

2023年3月期は海外子会社における工場や事務所等賃貸物件の契約更新に伴い資産への計上額が増加
(IFRS・米国会計基準の適用により)

3

2024年3月期はホロンの新工場予定地取得のための設備投資

4

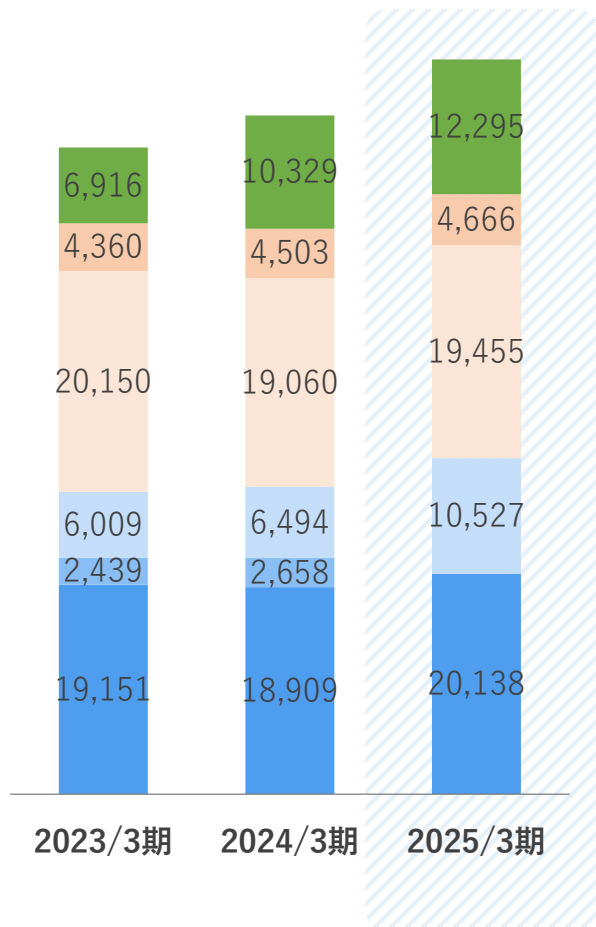
2025年3月期はホロンの新工場建設開始に係る設備投資

セグメント別業績推移（年間・四半期毎）

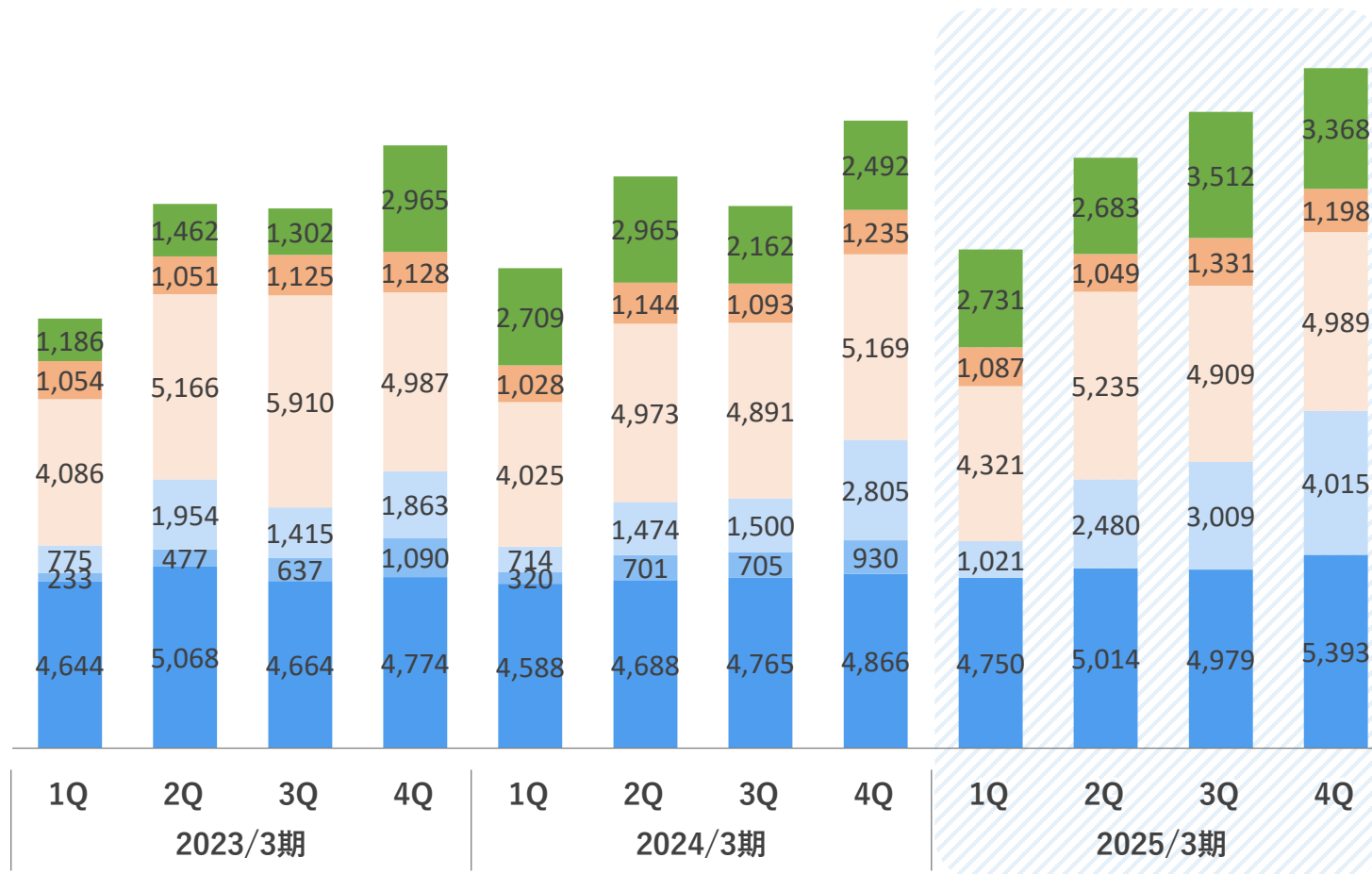
（単位：百万円）

売上高推移（年間）

■ 計量機器 ■ 計測機器 ■ DSP機器 ■ 健康機器 ■ 医療機器 ■ 半導体関連



売上高推移（四半期毎）



事業別業績

(単位：百万円)

	24/3期	25/3期	前期比
売上高	61,955	67,083	+8.3%
半導体関連	10,329	12,295	+19.0%
医療・健康機器	23,563	24,122	+2.4%
計測・計量機器	28,062	30,665	+9.3%
売上原価	34,335	36,880	+7.4%
半導体関連	4,149	5,115	+23.3%
医療・健康機器	13,034	13,246	+1.6%
計測・計量機器	16,827	18,256	+8.5%
販管費	19,664	21,390	+8.8%
半導体関連	2,394	3,055	+27.6%
医療・健康機器	6,279	6,769	+7.8%
計測・計量機器	9,472	9,704	+2.5%
営業利益	7,955	8,813	+10.8%
半導体関連※	3,785	4,124	+8.9%
医療・健康機器※	4,249	4,106	-3.4%
計測・計量機器※	1,762	2,704	+53.4%

サステナビリティの取り組みを更新しました。是非ご覧ください

当社グループは、最先端かつ多種多様な「はかる」技術を通じて、「計測・計量」「医療・健康」「半導体」分野での事業活動により社会課題の解決に貢献するとともに、環境保全や環境負荷低減の取り組みを積極的に推進することで、豊かで持続的な社会の実現と中長期的な企業価値の向上を目指します。

主な更新内容

- P16** A&Dホロンエコプロダクツ認定製品の中期目標設定
- P21** 「ダイバーシティ & インクルージョン」に関する2024年度実績の更新
- P23** 「働き方改革」に関する2024年度実績の更新
- P24** 「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）」の認定

サステナビリティの取り組み

株式会社A & Dホロンホールディングス
2025年5月26日

わたしたちは、長年培ってきた「はかる」技術を社会に提供することを通じて、科学技術の発展、産業の高度化、人々の健康な生活に寄与し、豊かで持続的な社会づくりにグローバルに貢献する企業グループを目指します。





A&D ホロンホールディングス
IRサイトは [こちら](#) から